

## 第 41 年度（2025 年度）ソフトウェア品質管理研究会 分科会紹介

「ソフトウェアメトリクスの必要性を今、紐解く！」

2025 年度のメトリクス演習コースは、以下のメンバーで皆さんの学びをサポートします。

このコースに参加すると…

- データの見方・活かし方がわかる！
- 現場でメトリクスを活用するコツがつかめる！
- データを使って、説得力のある分析ができる！

2024 年度の研究員の皆さんからは、こんな感想をいただきました。

- ・ 経験則でやっていたデータ分析を、統計の基礎からしっかり学べた。
- ・ メトリクスを「記録するだけ」から「活用する視点」に変えられた。
- ・ 自分の仕事に合わせたデータの収集・活用方法を考えるきっかけになった。
- ・ R コマンドを使って、データの可視化と分析を実践できた。
- ・ 蓄積データを分析することで、業務に活かす自信がついた。
- ・ 統計を活用することで、より説得力のある報告ができるようになった。
- ・ 同じ悩みを持つ仲間と話せて、新しい視点を得られた。
- ・ 「データに基づいた意思決定」ができるようになり、業務の精度が向上した。
- ・ データ分析が苦手だったが、実践を通じて抵抗感がなくなった。
- ・ 他社の参加者と議論することで、自社の課題を客観的に見つめ直せた。

こうした声をもとに、2025 年度も次のような方針で進めていきます。

### ◆ 実践重視！すぐに使えるスキルを身につける

- ・ 実践的な演習

講師のリアルな経験をもとにした演習で、現場で即使えるスキルをゲット。

- ・ ワークショップ & 実践レポート

データを使ったワークショップや、実際の業務で試す実践レポートで、学んだことをしっかり定着。

### ◆ しっかりサポート！疑問をそのままにしない

- ・ メーリングリストで Q&A

「これってどうするの？」と思ったら、いつでも気軽に質問 OK。

- ・ Zoom で補講

わからないところは、必要に応じてマンツーマンでフォロー。

◆ 仲間と一緒に愉しく学ぶ

・アフター活動

通常の分科会のあとに、軽食や飲み物を持ち寄って、リラックスしながら事例紹介&ディスカッション。

「どうやってデータを集める?」「どんな分析が効果的?」などの会話をしながら、現場でメトリクスをうまく使うための悩みや工夫について意見交換。

他社の事例や意見を知ることができる貴重な機会です、毎年大盛り上がり。

メトリクス演習コースは、こんな方にピッタリ!

- ・ データ分析に興味はあるけど、手をつけられていない方
- ・ メトリクスを記録しているけど、活用方法がわからない方
- ・ 数字を使って、もっと納得感のある説明をしたい方
- ・ 仲間と一緒に愉しく学びたい方

ソフトウェアメトリクスを学んで、業務に活かしたい方の参加をお待ちしています。

講師陣からのコメント

・小室より

データ分析の各種技法の使い方・意図・コツ・留意点などを、プロセス改善や品質管理にどう使うのかを意識しながら伝えたいと思います。

(参考: データ分析パターン言語

[https://www.juse.jp/sqip/symposium/2024/timetable/files/A2-2\\_ronbun.pdf](https://www.juse.jp/sqip/symposium/2024/timetable/files/A2-2_ronbun.pdf) )

・小池より

本コース名物のアフター活動(事例共有会)にてメトリクスや品質活動に関する悩みや成功体験について語り合いましょう!

・柏原より

学習を継続するためには、愉しさが大切だと思っています。「わかる・できる愉しさ」「成果につながる愉しさ」「仲間ができる愉しさ」を味わえる場にしていきたいと思っています。

◆主査: 柏原 一雄 (株式会社デンソークリエイト)

◆副主査: 小池 利和 (ヤマハ株式会社)

◆アドバイザー: 小室 睦 (株式会社プロセス分析ラボ)